

こやまだより

野火止

のびどめ

2021

No.74

編集 発行

(福)東京都社会福祉事業団

東京都小山児童学園

〒203-0041 東久留米市野火止 2-22-26

電話 042 (471) 0041

FAX 042 (475) 9046

<https://koyama-gakuen.jp/>

令和 3 年 10 月 31 日発行

令和 3 年度 / 登録第 2 号



日頃から、学園児童を応援していただき、ありがとうございます。

今年の夏は、全国的に記録的な大雨に見舞われ、東京でも例年に比べて降雨量も多く、当学園の周辺でも突然の夕立や朝方の雷雨など、天候が安定しない状況が見られました。

気温の方も、8月には連日30度以上の真夏日が続いていたと思いきや、9月に入り最高気温が20度程度の日々が続くなど、体調管理に気を遣う日々が続いています。

さらに、コロナウイルス変異株による感染拡大が続き、緊急事態宣言下で、例年学園で実施してきた盆踊りや寮単位での外出などの行事を行うことができませんでした。

そうした中であっても、子供達が楽しめるイベントとして、7月末には夏祭りを開催しました。また、職員お手製のプールも登場し、夏の間、大勢の子供達が水遊びに興じていました。今後も引き続き、必要な感染対策をとりつつ、楽しめるイベント等を実施していきたいと思っています。

園としては、コロナ禍であっても、子供たちが笑顔で、安心して安全に過ごすことができる施設運営を目指し、職員一同尽力して参ります。皆様方にはこれまで同様、御理解ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

園長 山川 幸宏



夏祭り

今年度もコロナ禍の影響で盆踊りではなく園内の子どもを対象に夏祭りを開催しました。前日は大雨で花火は中止かと思われましたが夏祭り当日は無事晴れて行う事ができました。水風船やスーパーボールをとる子や児童自治会の的当て、クイズで楽しく遊んでいました。また、東久留米ボクシングクラブの方にお越しいただき、スパーリング、サンドバッグ打ちをしてもらいました。多くの子どもや職員が体験しました。花火は火花が美しい設置花火、屋根まで上がった打ち上げ花火、フィナーレにナイアガラ滝の滝風の花火と盛り沢山。子ども達は皆、その彩色と迫力に興奮していました。

来年度は是非とも盆踊りを開催できると良いですね。



みずき

今年はコロナの濃厚接触者が出てしまったり、小学生児童が長期外泊に行ってしまうと中高生だけになったりと、ホームの中が落ち着きませんでした。

本園での夏祭りには参加出来て、ゲームや花火を楽しみました。秋になったら、お楽しみが出来るといいな。

桜寮

コロナ緊急事態宣言で外出が出来ない日が続いた夏休み。桜寮女子で、ドライブスルーのランチ計画でした。マクドナルドとスターバックスで思い思いの注文をして、学園近隣の小さな公園でランチをしてきました。ささやかな外出でしたが「また行きたい！」の声も。アルバイトで参加できなかった人にはパンケーキやスコーンをお土産に、次の機会を楽しみにしていました。

夏の思い出♡

川清掃・川遊び

今年も、コロナ禍ではありましたが、コロナ対策・熱中症対策を行い、黒目川の清掃・落合川の川遊びを行いました。参加した子供たちは、ごみを拾い集め午後の、川遊びを満喫しました。付き添い職員も、びしょ濡れになり少ない行事を楽しみました。

菊寮

今年の夏休みも新型コロナウイルスの影響で、毎年子どもたちが楽しみにしていた盆踊り大会や寮外泊などの行事が中止となってしまいました。また自由に外出することもできなくなってしまったので、園庭に巨大プールを作ってみたところ、皆大喜びで遊んでいました。

松寮

今年は寮外泊も行けず寮外出として、TACHIHI BEACH(タチヒビーチ)にBBQをやりに行きました。お肉をたくさん食べ飲み物もたくさん飲み、砂浜でたくさん遊びました。

BBQに参加していない子どもは自分の好きな映画を見に行きました。

松寮のベランダでBBQもしました。この夏は、たくさんお肉を食べられた夏でした。

園庭にプールも出し、プールも行いました。年齢関係なく皆で遊ぶことができました！



竹寮

今年の夏は、園内で楽しみDAYを開催しました。

昼間は大きなスクリーンを使用し、映画鑑賞会。ピザとジュースを食べながら、沢山の映画をみんなで観ました。ご飯を食べながら、映画を観ることはなかなかないため、大盛り上がり。夜は、園庭でBBQと花火。BBQでは、お肉も人気でしたが、それ以上にマシュマロが大人気でした。串に刺したマシュマロを、焦げないように上手く調整しながら焼いていました。初めは「できないよ～」と言っていた初挑戦の子達も、一所懸命に挑戦。上手く焼けた時は、大喜びしていました。



感染予防のために、できること。



小山児童学園におけるコロナ対策

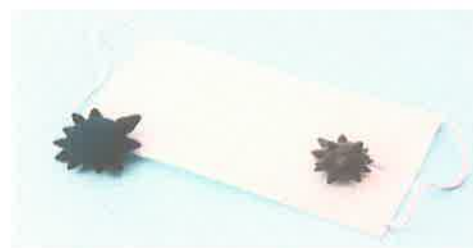
支援部門長 財前仁

小山児童学園では、国や都からの指示を元に、三密の回避、マスク着用と手洗いうがいの徹底等の予防対策に力を入れてきました。また、感染者や濃厚接触者が確認された際の、検査、隔離、食事提供、職員体制のルール化など、感染した子どもは当然として、残された子どもたちの生活を守るための準備をしてきました。

このような対策を実施するにあたり、マスクや消毒用アルコールはもちろんのこと、迅速な対応を可能とするためのPCR検査キット、感性防止対策としての防護服、フェイスシールド、使い捨て手袋、感染拡大防止対策としての使い捨て食器や専用ごみ箱などといった備品を整備してきました。

実際に感染が確認された子どもが発生すると、子ども個々に状況が異なることから、想定通りにいかない場面もありましたが、準備していた対応に加えた臨機応変な対応等により、感染の拡大を抑えることができました。

今後も、これまでの知見を踏まえて対策をアップデートしていくとともに、子どもたちの生活を豊かにするための取組にも力を入れていきたいと思います。



編集後記

今回は、コロナの影響で学園・寮の行事が思うように行えずいました。職員たちも、子ども達と楽しい夏休みを過ごせるように工夫を凝らしました。紙面が少なくなっております。次回もお楽しみに。

野火止担当 本(もと)